



燃費テスト報告書

「馬力向上」さらに「燃費向上」スポーツマフラー

P.B.S パワーブーストシステム搭載



GVE-004/006シリーズ デリカD:5用馬力向上・燃費向上マフラー

左右2本出し 燃費向上率13.4UP

(上記はGVE-004のデータです。GVE-006は、6.0%アップです。)

総走行距離 149.0Km

一般道路 31.6km (21.2%)
 高速道路 93.7km (62.9%)
 山間道路 23.7km (15.9%)

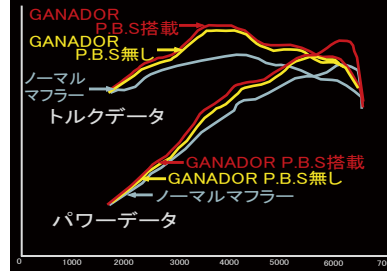
デリカD: 5 (CV5W) パワー/トルク/音量/重量データ (社内データ)

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)	7ftリッジ音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	152.2	21.5	57.0	83.0	16.7
GANADOR P.B.Sマフラー	171.1	24.3	55.0	84.0	15.4

(上記はGVE-004のデータです。GVE-006は、弊社ホームページをご覧ください。)

デリカD: 5 (CV5W) 燃費対比テストデータ (社内データ)

装着マフラー	テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費向上率
ノーマルマフラー	2010/3/16	曇り	149.0	14.50	...
GANADOR P.B.Sマフラー	2010/3/16	曇り	149.0	12.79	13.4% アップ



Power : +18.9ps Torque : +2.8kg・m
P.B.S効果のデータです。
 ※1 P.B.S(パワーブーストシステム)の詳細は、弊社ホームページをご覧ください。

開発者のコメント

- デリカD: 5専用マフラーは、乗りやすさを重点的に考え、低回転から粘りのあるトルクを出し、高回転までストレスなく続くパワー感を重視して設計しました。
- デリカD: 5専用マフラーは、サイレンサー内部構造の仕様変更を何度も行ない、テスト走行を繰り返した末、燃費アップはもちろん、軽快なスポーツサウンドに仕立てました。

●当社実走行燃費比較テスト内容

お客様ご自身で検証を行う際は、下記ポイントを参考にして正しい方法で行って下さい。

① テスト環境
(強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ
同じコンディションで
測定しています。

- 同じ気温・気象条件で行っています。
- 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。
- ➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

② 走行条件
(距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や
山道をおりまぜています。

- 【走行距離】当社参考データ
一般道 32 km (約21%)
高速道路 94 km (約63%)
山道(登り・下り) 24 km (約16%)
※一般道だけの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。
- 【速度設定】当社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせて。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 満タン法
(同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と
向きを同一にし、
同じ油面で給油して
います。

- 燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で行っています。
- ※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので要注意です。)
- 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

④ 運転方法
(加速度と所要時間が同じであることを同じに行なう)

ノーマルで50km/hまでの
加速時間が50秒の時、
ガナドールマフラーの時も
同じ50秒で加速しています。

- 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間でテストしています。
- 【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒かけて加速するのが比較条件。
- 【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎていたので比較テストになりません。
- ➡ 省エネ効果が得られません。

同じ条件での運転で比較した場合、13.4%向上しました。

(上記はGVE-004のデータです。GVE-006は、6.0%アップです。)

表記データは上記コース及び条件で当社の計測した結果です。